

教育課程編成のグランドデザイン

【学校経営ビジョン】

一人一人の生徒の生き方が尊重され、大切にされることを基盤に、『信頼され、共感される学校づくり<わかる授業・自立を支える教育課程・楽しい学校>』を柱として、「豊かな人間性」と生きる力を育む教育を推進する。

【教科指導の重点】

- 「わかる、できる、心が動く」授業づくりの推進
- ・願いを明確にした学習指導（つける力の明確化）
- ・確かな課題把握
- ・基礎・基本の確実な定着を図る指導
- ・目標に準拠した評価による指導改善（評価規準の明確化、評価と指導の一体化）
- ・体験的な学習、問題解決的な学習の重視
- 個に応じたきめ細かな学習指導（習熟度別少人数学習指導、T. T.、学習習慣の形成、家庭学習の充実）

【総合的な学習の時間の重点】

- ねらいとつける力を明確にした全体計画の作成
- よりよく問題を解決するなかで生き方を学ぶ学習
- 地域の「もの、ひと、こと」から学ぶ学習
- 主体的、体験的な学習

【学校教育目標】

どんな花でも精いっぱい
～夢に誇りのせて～

【めざす生徒の姿】

「自立」にむけての基礎基本をしっかりと身につけ、学校での生活・社会での生活に積極的に参加するなかで、仲間や教職員、地域とのかかわりをおとして、新たな学びを獲得し、自分を表出できる生徒

【本校の課題・めざす姿】

- ・一人一人の生徒の活動がよく見え、それぞれの生徒が輝いて生きる学校
- ・個の自立を支えるとともに、互いのよさを認め合い、生かし合える人間関係づくり
- ・コミュニケーション力、自己表現を中心とする社会性の育ち
- ・基礎・基本の定着を中心とする学力の保障
- ・地域の学校として、誠実な生活態度をもった生徒、開かれた学校

【本年度の重点】

- 全校生徒・職員が一丸となって「屋中生の誇り」の実現を目指す。
- 「確かで質の高い学力」を身につける学習指導を推進する。
- 人権教育を推進し、自己の言動に責任と思いやりをもった生徒を育てる。
- 地域とのかかわりを深め、地域に学び、貢献し、地域に発信する活動をすすめる。

【本校において育成する「生きる力」】

豊かな人間性、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力

【家庭・地域との連携】

- ・屋代中学校「教育地域人材バンク」の活用（総合的な学習の時間・特別活動・部活動）
- ・学校要覧『屋代中教育』、学校だより「屋中は今」、学年、学級通信の発行
- ・「学校評価」の実施と効果的な活用
- ・人権擁護安全推進委員会、PTA、子どもを守る安心の家などと連携した安心・安全対策、「開かれた学校」づくり、
- ・授業参観・部活動参観、スポーツ活動運営委員会、学校保健委員会、個人懇談会、保護者会等の開催
- ・「屋代中学校ホームページ」の更新

【道徳教育・指導の重点】

生き方を語り合い、問い合い、ともどもにより良い生き方を追究する授業づくり

【特別活動・指導の重点】

互いの人格や個性を尊重しながら、全員で協力し合う集団活動を通して、人間性や社会性を高め合う指導（自主、自治）

【特別支援教育・指導の重点】

自己有能感を育みながら、自己選択、自己決定をして、主体的に生活する力を身につけていく指導

【人権教育・指導の重点】

学校教育全体を通じて、人権感覚を高め、差別やいじめを許さない生徒を育てる

【生徒指導の重点】

- ・共感的な生徒理解に基づく、個に応じ、個を生かした指導
- ・人間関係づくりと心の触れ合いを重視した指導
- ・報告、連絡、相談
- ・チーム支援体制

【健康教育の重点】

健康を適切に管理し、改善していく資質と能力の育成（保健教育、食育、安全教育）
体力、技能及び精神力の向上（部活動）

わかる授業

- ・日々の授業の充実と研究の日常化
- ・学力向上にむけての授業改善
- ・同僚性の発揮と学び合う集団づくり

自立を支える教育課程

- ・地域性を生かした学習活動（様々な体験や人との交流を通じた心の教育）
- ・社会性を養い、社会力を学ぶ教育

楽しい学校

- ・時と場に応じた自然な挨拶とふれあい
- ・団結して盛り上がるイベント、行事
- ・「屋中生の誇り」のもとに動く生徒会

< 屋中生の誇り >

- 「心を交わす明るいあいさつ」
- 「感動を生む大合唱」
- 「無言(ひとり)からはじまる気づきの清掃」

【校内研修の工夫】

- 教職員の資質の向上（自ら求めている研修）
- ・教員評価
 - ・実践から学ぶ授業研究
 - ・授業改善の視点を見極める互いの授業公開
 - ・生徒の心をつめる生徒指導研修

【学校評価の評価項目・観点】

- ・重点目標に基づいて、各活動領域・校務分掌で焦点化された評価項目、評価の観点を設定し、「本校らしさ」を大切にした自己評価を行う。
- ・職員による内部評価→客観性を求めている生徒、保護者、地域の方々へのアンケート→外部評価（学校評議員+PTA三役）→公表→次年度の計画づくり

< 合い言葉 > ※ よい学校では常に「改善」がおきています。 ※ よい学校には必ずよい「生徒会」があります。